

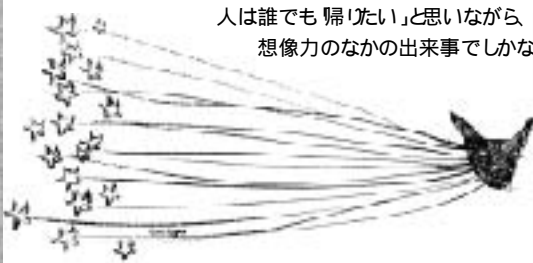
Once

故郷の記憶

丸々とした女の子はひょいど荷台に乗せられた。厚い座布団の上に、幾重にも温かなストールに巻かれて。ストールの隙間からまん丸な大きくなるくよく動く黒い目がのぞいている。大慌てに荷造りする大人たちの様子を眺めていた。そして大人たちは忘れ物がないか確認すると女の子をもう一度抱き上げて車の中に座らせた。車は暗い夜道を走り始めた。走り去る車の窓から、その家の光が見えた。そしてそれはどんどん遠くなって行く。大人たちは無言で車を走らせている。女の子は、流れていく窓の外を見つめながら、わくわくしていた。車はどんどんスピードを上げて走らせている。3つになったばかりの女の子は、初めて見る夜の風景が楽しかった。よく晴れた夜空に光るたくさん星や月。時折すれ違う車のうなり声や流れる光り。暗い山の中に入った時、桜が真っ白に咲いていたのを覚えている。そして桜の木の下には、着物を着てすまして立つ狐の姿が見えた・・・気がした。女の子にとって初めての旅だった。大きくなってからもその時のことを忘れることはなかった。一人暮らすようになった時、彼女は、寂しくなると一人で夜の旅に出かけた。夜の旅は彼女の忘れがたい故郷だった。



人は誰でも「帰りたい」と思いながら、しかし、「帰る」ということが想像力のなかの出来事ではないことを知るようになるのである
寺山修司名言集より



COLUMN

鎌倉の猫事情 第四十九話

グーニーが宿敵灰色猫を撃退し、この路地裏に敵なしとなってもう一年余りの年月が流れました。乱暴者のグーニーの傲慢なふるまいに歯止めをかけるものはもう何もないのです。グーニーがのそりと姿を現わすと すみれも、クウも、居候の白猫も表情がこわばり、あたりに緊張感が走ります。このごろのグーニーにとって癩の種はすみれのようです。すみれは風貌は母親スピーに似て色白の美猫ですが、ニャオと鳴く声は姿に似ずしわがれ声はグーニーそっくりで、声だけ聞いていたら、どちらが来たのかわかりません。性格も女の子ながらなかなか戦闘的でグーニー似です。私たちはつつましく生活する白猫をとっても案じていました。ですから、グーニーが白猫の餌場に近寄るのをいつも警戒していました。グーニーは時々、餌場の近くに身を潜ませていることがあるからです。それでも餌を食べに来た白猫を追っ払うさぶりはありません。そうはいっても、グーニーに物陰から睨みつけられていたら白猫も食事どころではなかったと思います。グーニーの姿を見かけると短い尻尾を丸めて隠れてしまいます。しかし、グーニーの目的はすみれだったのです。すみれもクウもグーニーも、通りがかりに白猫のご飯を失敬します。ですから、最近グーニーと顔を合わせるをさげているすみれも、ここに潜んでいればいつか来ることはグーニーには分かっていたようです。その狙いを知った

スタッフ達はあきれ果てました。グーニーのすみれに対する執拗さは弁解の余地もありませんが、グーニーの育ての親として言い訳を考えてあげるとするとこれは、成猫に成長した子供はもう仲間ではなく、群れから追い出す義務があるということなのかと思います。いくら野蛮なグーニーといえども力ない赤ん坊に危害を加えるようなことはありませんでした。自然の中の群れで暮らす象や、ライオンなども似たような行動をとるようです。そんな日々が続き、ついにすみれの姿を見かけることはなくなっていきました。グーニーはクウにも時々激しい攻撃を加えていましたから、クウも次第にどこかへ行ってしまいました。にぎやかだった我が家もすっきり寂しくなり、時々すみれやクウの元気そうな姿を見たという噂を聞き、安心もしましたが、うちで生まれた猫を野良猫にしてしまったという思いがして、すみれやクウが生まれた時欲しいという人がいたのに初めの子が可愛くて手放せなかったことを悔やみ、申し訳ないことをしてしまったという後悔の念を抱くようになっていました。そんな二匹のことを案ずる日々が過ぎ、しばらくするとヨレクホールのスタッフの一人が、「クウちゃんは、もしかするとお隣に

いるのかもしれないよ」と意外なこと言うのです。



TOPICS

ささめやゆき

IN ミルクホール

このページは鎌倉在住の版画家であり、挿絵作家でもある、ささめやゆき氏の作品の紹介です。

数年前ヨレクホールのために数枚の絵を描いて下さっていますが、その絵は裏路地の看板やオリジナルグッズの挿絵でお馴染みかと思えます。

ささめやさんは、別名細谷正之と、2つの顔を持つ個性豊かな作家です。昔見た童話のように、時代や国や、時空を超えて、私達に夢の世界を思い出させてくれる愛らしく、ちょっともの悲しくなるようなノスタルジックな絵と文で本や版画を作り上げています。今回はヨレクホールで販売しております、ささめやさんの作品の全部を紙面にてご紹介致しました。遠方のお客様には、地方発送も承ります。



ささめやゆき オリジナルカード
9枚組 ¥1200

ささめやゆきの不思議な世界。
ヨレクホールお勧めのカードセット

ささめやゆき と 中澤晶子の
「幻燈サーカス」 ¥1800

ささめやゆきのガラス絵の世界。
幻想的な魅力に溢れています。



1



4



8

ささめやゆき
「マルスさんと
マダムマルス」
¥1400

ささめやゆきによる絵と文
長年にわたりささめやファンに
根強い人気です。



2



5



9

ささめやゆき
「ネパール絵日記」
¥1500

若き頃のささめやゆき
ネパール旅行の記録。
初期の頃の異色の作品



3



6



7

1. 海辺]
2. (人生は夢にしかすぎない)
3. ギャルソン]
4. (Broken Morning)
5. 犬狗廻状]
6. 黄色い男]
7. (The Cather in the RYE)
8. 創世記]
9. (Monsieur & Fuelico]



ミルクホール&ささめやゆき
オリジナルグッズ

- グラス5種類 5個セット 3500円
- 2個セット 1400円
- LADY'STシャツ2種類 2500円
- 三角灰皿 5種類 1個 850円
- ローションポンプ 5種類 2000円
- タンブラー 1個 700円
- マグカップ 4種類 1個 750円
- デモップ 4種類 1個 650円

CUNARD LINE

ETATS-UNIS ET CANADA
PAR CHEBBOURG ET LE HAVRE

ANTIQUE



ミルクホールのアンティークは
毎日の生活の中で使える
やさしいアンティークです
日常の空間の中で昔の時間と
触れ合ってみてください

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

新入荷情報

古陶磁

東大寺瓦・百済瓦など
古伊万里大皿・小皿・鉢
大正時代色絵碗・皿入荷
昭和漫画子ども碗
明治銅版そば猪口ほか
伊万里そば猪口・明治鉢
李朝白磁・青磁

伊万里・古伊万里入荷
明治銅版各種入荷

アンティーク

大正時代ガラス器
オールドリクケ
銀食器
大正時代ランプシェード
スタンドグラス各種
英国製 1920年頃
レプリカ照明器具各種
大正・昭和初期風
ランプシェード金具付

和洋家具

明治・大正時代の和洋家具類

大正時代水屋筆筒
大正時代 衣装筆筒他
昭和初期ガラス入り本箱
昭和初期文机
昭和茶棚など

アクセサリー&小物

シガレットケース
化粧コンパクト
アンティークバッグ
簪・髪飾り
水晶ブレスレット
額絵・雑誌
大正時代古布

古民芸

大正時代鏡台
お針箱
無地屏風
格子建具
火鉢・煙草盆
銭函・糸巻きなど



LIVE 4/16 Sat. pm 7:30

湘南の波の音、風のささやき。
自然を肌で感じ、素直に歌にする。
安らぎと憂しさ、心地よい響きが聞こえてくる。
中空をやんわりと浮遊するよな感覚で
感じて下さい。

ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

HALF MOONの音楽は愛と平和を歌います。

by
琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

PARTY

Milk Hall Times

ミルクホールの BAR ROOMで パーティを開きませんか？

ミルクホールで少人数のパーティを企画して
みませんか？
ミルクホールでは、奥のBAR ROOMを利用した、
数人から15人程度の、小さなパーティを承って
おります。
お友達同士のランチパーティや、ティパーティに、
ご利用ください。
夜のパーティには、ご希望によりお料理を
ご用意することもできます。
どうぞ、お気軽にご相談下さい。
カウンタースタッフまで
お問い合わせは、お電話かメールにて



ミルクホールタイムス 総集編発行のお知らせ

ミルクホールタイムスは1986年に創刊
し、現在に至っています。
長い年月のさまざまな思い出のこもった
ミルクホールタイムスの総集編を
現在製作中です。

ミルクホールをご利用頂いたお客様に、
30年余のさまざまな記憶を辿って頂き、
又、鎌倉の猫事情など、読み物をお読
み頂くお客様にはバックナンバー全て
を読んで頂けるような編集にしております。
発行予定は・・・ただいま奮闘中です。
発行日が決まり次第、ご予約など承り、遠方のお
客様には郵送もさせていただきます。
製作段階にて煮詰まる場面も多々あり
発行予定は大幅に遅れてごめんなさい。
どうか、もう少しお待ち下さい。
ミルクホールタイムス編集者より



<http://www.milkhall.co.jp/>
e-mail info@milkhall.co.jp

TEL 0467-22-1179

<http://www.milkhall.co.jp/> phone 0467-22-1179 fax 24-9537 Milk Hall co.ltd.